

「評価の本質見取り図」とは？

2022年度、資金分配団体の有志によって構成された業務改善プロジェクトチーム・評価班では、休眠預金活用事業における「評価の本質」を簡潔に表すための議論を続けてきました。その結果を、以下の「見取り図」で提示します。

2022年度業務改善プロジェクトチーム・評価班

ポイント1：「見取り図」で示されている評価の本質を理解し、実践することで、

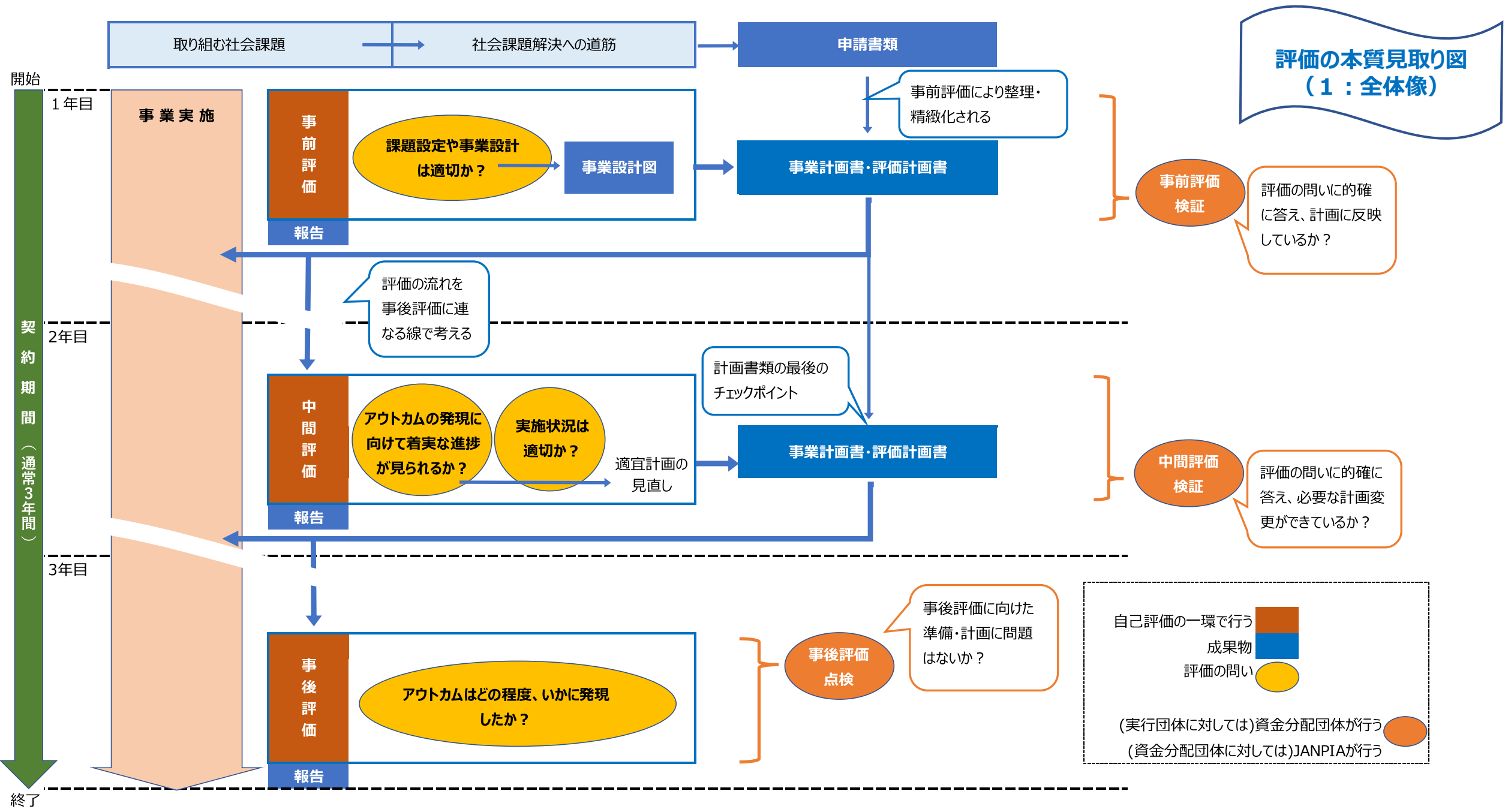
- **事業が目指したことがどれくらい・どのように達成できたかがわかる**
 - **事業に関わる関係者と事業目標について共通理解をもつことができる**
 - **事業のねらいや成果を世に広く知らせ、支援獲得のもとになる**
- ことが可能になると考えます。

ポイント2：「見取り図」の読み手は資金分配団体のPOを想定しています。資金分配団体として、評価の本質や勘所を実行団体に伝えるための補助資料として活用できます。

- 資金分配団体POとして、見取り図にある「評価の問い」に実行団体との対話によって答えるようにしていきましょう。
- 実行団体には、評価によって前向きに事業改善を行うことができることを繰り返し強調していきましょう。

ポイント3：資金分配団体のPOとして、よりよく評価の本質を理解し、実行団体に対する効果的な伴走支援を実践できるように、**お互いの経験から学ぶ「学びあいの機会」**をつくっていきましょう。

ポイント4：資金分配団体としては、「見取り図」の記載事項以外に実行団体への組織基盤強化支援や成果の達成に向けた環境整備のために実施する「包括的支援プログラム」についても的確に評価していきましょう。



事前評価

事業を実施する前に、事業の必要性・妥当性を判断するために実施する

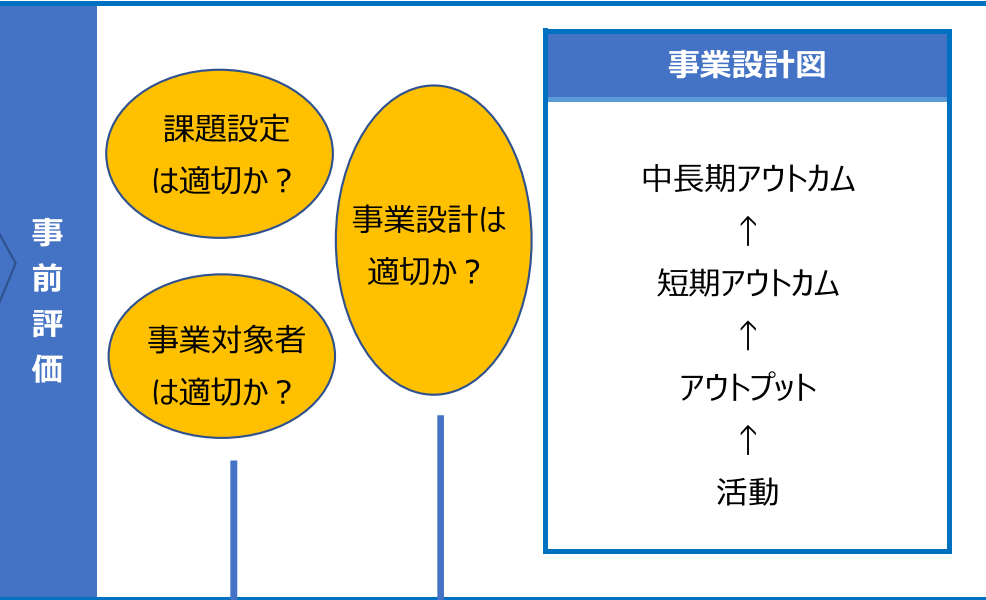
評価の本質見取り図 (2: 事前評価)

申請書類

取り組む社会課題

社会課題解決への道筋

分析の結果が事業計画に反映されているようにする



事前評価では、取り組む社会課題の妥当性、事業設計（特に短期アウトカム）の妥当性を検証する

事業計画書・評価計画書

取り組む社会課題	中長期アウトカム	短期アウトカム*	活動→アウトプット*	実施体制
		短期アウトカム指標／初期値／目標値*	アウトプット指標／初期値／目標値*	実施体制
測定方法（必要なデータ／データ収集方法）				

分析の結果を反映した事業計画・評価計画を作成する

事前評価において、短期アウトカムを測定する指標を設定し、できる範囲で初期値を取得しておく

報告

課題の分析の結果

事業設計の分析の結果

特に力を入れるべきもの

* 資金分配団体の場合、短期アウトカム、活動→アウトプット、短期アウトカム指標、アウトプット指標には資金支援と非資金的支援（組織基盤強化と環境整備）の両面を含む

評価の本質見取り図
(3 : 中間評価)

中間評価

成果の進捗状況を把握し、事業活動や予算・人材等の資源配分の見直しを行うために、事業実施期間の中間地点で実施する

事業計画書・評価計画書

事業設計図

事業実施

アウトカムの発現に向けて着実な進捗が見られるか？

実施状況は適切か？

実施体制は適切か？

中間評価では、事業実施状況を検証し、事業改善を図る。

中間評価

報告

実施状況の分析の結果、アウトプットの達成状況、アウトカム達成に向けた進捗状況

アウトカムの分析に向けた指標等の整理

分析の結果が事業計画・評価計画に反映されているようにする

事業計画書・評価計画書 (見直し後)

取り組む社会課題	中長期アウトカム	短期アウトカム*	活動→アウトプット*	実施体制
		短期アウトカム指標／初期値／目標値*	アウトプット指標／初期値／目標値*	実施体制
測定方法 (必要なデータ／データ収集方法)				

中間評価において、事後評価で採用するアウトカム指標を最終的に決定し、データ収集の方法を確認する。

特に力を入れるべきもの

* 資金分配団体の場合、短期アウトカム、活動→アウトプット、短期アウトカム指標、アウトプット指標には資金支援と非資金的支援 (組織基盤強化と環境整備) の両面を含む

事後評価

事業が終了した後に、成果の達成状況や事業の妥当性の検証を行うために実施する

評価の本質見取り図 (4 : 事後評価)

事業計画書・評価計画書 (見直し後)

事業設計図

事業実施

アウトカムはどの程度、いかに発現したか？

基本情報

短期アウトカム

- ・指標によるアウトカム分析
アウトカムの達成度
波及効果
事業の効率性
- ・成功要因
- ・深掘り (特質すべき点)

事業の成果として
特質すべき、伝えるべきポイントを
多様な手法で提示

まんべんなくでなく
フォーカルポイントを
立体的に提示

- 提言
- 知見・教訓

しっかり振り返って
次につなげる

中長期アウトカム

- ・みちすじ
- ・事業継続、発展への戦略

出口戦略や今後の展開
を確認する

事後評価

報告
・
活用

事後評価

事業成果の測定
事業の価値の判断
学びの抽出

事後評価の活用

積極的な情報発信により
応援する人を増やす

民間公益活動全般の
質を向上する

民間資金や人材の
獲得などを促す

社会課題の解決に向けた
取り組みが促進される

事後評価では、事業が達成したアウトカムを中心に伝えるが、同時に、貴重な振り返りの機会であり、
→事業の価値を再認識する
→できたことを共有して自信をつける
→学びを得る
ことで次につなげることができる。

事後評価の活用も重要

特に力を入れるべきもの

出典：事後評価ハンドブック (JANPIA)